

五十三期生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんの入学を心から祝福し、歓迎いたします。季節はまさに春たけなわ。みなさんの入学を祝うかのように花々は咲き乱れ、百花繚乱の様相を呈しています。また昨日には新しい元号が発表されました。初めて出典が日本の古典である万葉集からとられ、令和と名づけられました。まさに激動の時代の幕開けです。歴史を振り返ってみれば、世界を東西に分断した冷戦の終結からおよそ三十年。ヒト、モノ、カネが地球規模で移動するグローバル化が進んでいます。そのうねりは国家や民族の新たな対立を生み、再び世界を引き裂こうとされています。危機を起こさない知恵が問われています。しかし、誰も

グローバル化の流れを止めることはできないでしょう。「いま世界で何が起きているか」を知り、「世界がどう動くか」を見極め、「日本はどの道を進めばよいかを」判断しなければなりません。「グローバル社会を生きるとは単に英語を話し、外国に留学するということではありません。異なる宗教・民族の違いを越えて、人間関係を築く深い知識や教養が必要です。ここにこそ、高校や大学で学ぶ意味があります。そして千里高校はそのような学習にうってつけの学校です。多くの外国人の留学生と交流する機会が校内外に溢れ、海外研修も年間、十に近いプログラムを用意しています。これからは言語や文化、価値観の異なる他者を知り、新たな共存関係を築いてい

かねばなりません。日本の針路を決めるのはやはり若者であるみなさんたちです。歴史を見ても、変革期に大活躍するのはいつの時代も若者です。すなわち、みなさんに日本の未来は託されているのです。教養を身に付け、自分の頭で考え抜く力を鍛える学習の役割が増しています。単なる知識だけではAIに負けません。知識と知識を結び付け、問いに対して答える力が必要です。その力を養うには訓練の必要があります。千里高校ではその訓練を国際文化科も総合科学科の両学科とも課題研究を中心に行っています。文部科学省から委託で、全国的事業であるSSHやSGHの指定を受け、一年生から研究活動にいそしんでいます。SGHではグローバル・マネージメント力。

すなわち、多面的な視点をもち、他社と協調しながら柔軟かつ創造的な提案を行う力の育成。またSSHではグローバルな課題を解決する二十一世紀型科学者の育成を図っています。仮説・実験・結果・考察のサイクルの中で思考力・判断力・表現力が育成されます。まさに時代が求める力の育成を千里高校は実践しています。大学入試の大きな変革も迫る中、皆さんはこれらの力を大いに磨き、卒業する時に千里高校に入学してよかったと思える三年間になることを願っています。

結びに当たり、保護者の皆さま、改めてお子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。私たち、教職員一同、お預かりした大切なお子様お一人おひとりの夢の実現に向けて、全力

を尽くしてサポートしていきます。安心してお任せください。最後になりましたが、年度初めのご多用中にも関わりませず、ご臨席賜りました大阪府教育庁ご代表、塩見主任指導主事をはじめとしてご来賓みなさまにおかれましては、今後ますます、本校が充実発展していくことができますようご指導ご支援をお願いしまして私の式辞とします。

平成31年4月2日

大阪府立千里高等学校長 天野 誠